

令和 2 年環境生活委員会 開催状況

開催年月日 令和 2 年 3 月 2 4 日（火）

質問者 民主・道民連合 広田 まゆみ委員

答弁者 象徴空間担当課長 永田 英美

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>二 ウポポイ開設について</p> <p>次に、ウポポイについて、質問いたします。</p> <p>ウポポイの開設についてでありますけれども、知事は緊急事態宣言を解除されまして、コロナウイルス対策の第 2 ステージであると表明をされました。道主催の行事ですとか、道立施設は 3 月末まで休業、4 月から再開をされる見込みであると承知をしています。</p> <p>国立の施設ではありますけれども、既にいろいろな PR、ずっと続いておりますし、JR に乗ればアナウンスも入るし、いろいろなポスターも貼られているということで、ウポポイのオープンは予定どおり行われるのか伺います。</p> <p>道としては、現段階でどのような準備を行い、中央政府の動向をどのように把握しているのか伺います。</p> <p>私自身はですね、このウポポイというのは国の施設、国立施設だということで今ここでご議論するというのも限界があると思いますので指摘ということで、道ができることを考えていただきたいという意味で指摘をさせていただきたいと思います。世界の感染拡大を受けて、オープンを前提とするならば、どんな形でオープンをするのか。それも国のほうで考えることになると思いますけれども、最悪の場合を想定して、無観客オープンとか、入場制限をするとか。</p> <p>そのときに私自身は、必要となるのが今の時点からの発信だというふうに思うのです。外国語対応で世界に向けて発信をするということが非常に重要だというふうに思います。それを何故思うかということ、今、ちょっと、いろいろ、コロナウイルス対策で観光事業者の皆さんもたいへんな打撃を、被害を受けているのですけれども、個を発信しながらお客さんも呼んでいる民泊の人たち。その民泊の人たちも今、全然予約が入ってないんですけど、その人たちが発信しているサイトのビュー数がすごい増えているというふうに聞いているわけですよ。今来れない分、見てる人が多い。この時期に英語対応でどんな発信を北海道がするかというのは非常に重要だと思うのです。これはもちろん環境生活部だけではできないと思うのですけれども、ハワイ州観光局のページ、今ちょっと米国の状況が変わっているのです、少し状況は変わっているかもしれませんが、その観光のサイトのページにコロナウイルスに対してこういう対策をしているというところもちゃんと、押すと行くところがあって、ただそこは変わらず、きちんといろいろなコンテンツの紹介をしているわけです。</p> <p>そういう英語対応の、この時期だからこそできる英語対応の広報の構築ということをしっかりやっていくべきだと思うのです。それも基本的にウポポイは国のほうでやるの</p>	<p>(象徴空間担当課長)</p> <p>ウポポイの開設についてであります、今のところ、国の方針に変更はなく、ウポポイを管理運営するアイヌ民族文化財団におきましても、当初予定どおりの開設に向け準備が進められております。</p> <p>ウポポイは、アイヌ文化の復興・発展はもとより、本道観光の牽引役として大きな役割を担うものと考えており、道ではこれまで、認知度の向上や誘客促進に向けた取組を進めてまいりました。</p> <p>今後とも、新型コロナウイルス感染症の状況の推移を見極めるとともに、政府の動向などについても十分注視してまいる考えでございます。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>だと思っておりますけれども、じゃあ関連して道内の文化施設、関連施設のところで英語対応が課題になっているところもあったというふうに思うのです。その連携の仕方というのを考えながら、実際に今、入場制限をしているところでも、現場の博物館とか、美術館とか、いろいろなところは、ネットでいろいろなこと、展示を紹介するような取組をしているわけです。</p> <p>そういうことをこの機運を活用して、いろいろな助成だとか、いろいろな財源が来ると想定をするならば、その機運もしっかり活用して、この機会に海外に対して、北海道の魅力を、特に環境生活部ですから文化施設だとか、そういうところの魅力を発信できるようなところの構築にしっかり努めていただきたいということを指摘いたしまして、ウポポイの質問を終わります。</p>	